

2022_2_13 年表追加

2017_7_4 訂正

ホツマツタエ 超古代史 新年表

ホツマツタエ研究家 吉田六雄

超古代史 新年表

超日本史新年表は、日本史の懸案であった太陰非太陽暦(2倍暦)の壁を突破し、「スス暦の太陽暦」「アスス暦の太陰太陽暦」を編纂し、更に西暦の太陽暦に変換した本格的な超日本史年表である。またホツマ暦の解説書である。また、超日本史新年表の期間は、紀元前六世紀～紀元三世紀に対応しており、ホツマツタエの記述と考古学の出土物(銅鐸、埴輪、鉄の伝来など)年代を対比することができ、その結果、製造などの年代がほぼ同年代であることが実証され、その結果を発表できた画期的な新日本史年表の論文集になった。

【スス暦】

①アマテル神ことワカヒト

アマテル神は、富士山の南山麓で、生まれられた年は、紀元前 330 年であった。ワカヒト天御子は、紀元前 320 年に日高見(宮城県)より移られ、紀元前 289 年に長男のオシヒトが天日嗣されており、ワカヒトの在位期間は約 31 年になる。

②アマテル神の長男のオシヒト(箱根の駒ヶ岳の神)

オシヒトの天日嗣は紀元前 289 年であり、テルヒコが葦原国を治めた、またキヨヒトが新治の宮を治められたのが紀元前 280 年のため、オシヒトの在位期間は約 9 年になる。そう言えばオシヒトは体が弱かった記述が残されている。

③ニニキネ尊ことキヨヒト(高千穂の神)

キヨヒトの在位期間は、新治の宮を治められたが紀元前 280 年。ウツギネに天日嗣されたのが紀元前 224 年になり、キヨヒトの在位期間は約 55 年になる。キヨヒトことニニキネが活躍されてアマキミ(天君)、高千穂の峰で神上がられるまで、新治、伊勢、高千穂と周られていることから長い期間が経っていることが伺える。

④ヒコホホデミことウツギネ(海彦、山海彦の海海彦)

ウツ…宇都宮の語源になった人、ウツギネの天日嗣は紀元前 224 年、また神上がりされて「ケキの神」になられたのが、紀元前 189 年になる。ウツギネの在位期間は約 35 年間であった。

⑤ワカヒト～オシヒト～キヨヒト～ウツキネまでの四人の在位期間は、約 130 年であり、平均在位期間は、約 32.5 年になる。現在の一代当たりの約 30 年間と大差がないようである。

スス暦、太陽暦、西暦の古代史対照年表

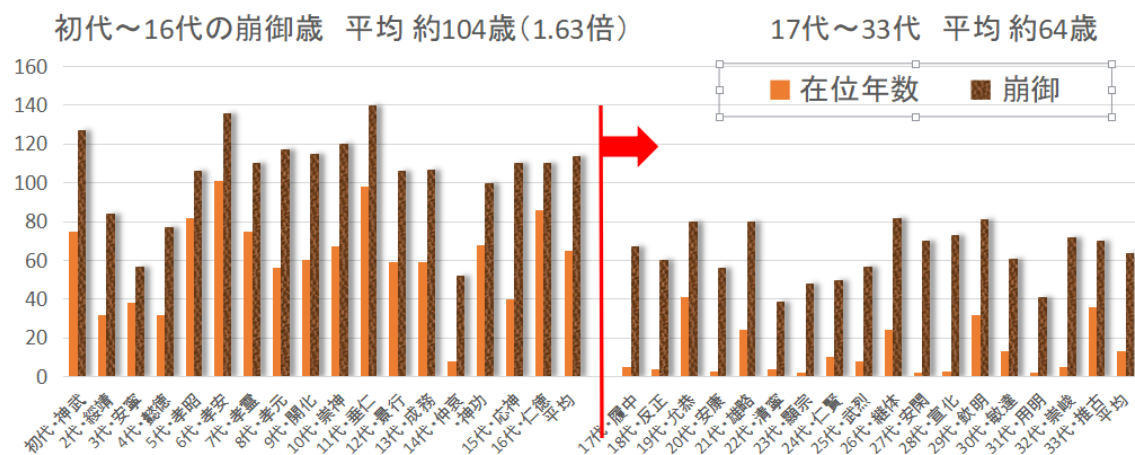
NO	ホツマツタエのスス暦の記述	月	日	エト NO	大暦数字	天鈴暦 太陽年	補正 値	西暦 年	月	日
	(予想) 1鈴1穂 (スス暦初)			1	1	1	536	-535	5	14
1	28-8 21の鈴100枝後			1	1,206,001	206	536	-330	9	28
2	4-24 21鈴125枝年キシエ初日	1	1	31	1,207,531	207	536	-329	1	1
3	28-11 21鈴125枝31穂キシエの初日	1	1	31	1,207,531	207	536	-329	1	1
4	6-1 21鈴126枝年サナト弥生朔日	3	1	58	1,207,618	207	536	-329	1	7
	(正) 22鈴126年年サナト弥生朔日	3	1	58	1,267,618	217	536	-319	4	13
5	6-14 2鈴505枝初に			1	1,290,301	221	536	-315	2	31
6	6-22 22鈴505枝ネナト弥生の望	3	15	10	1,290,310	221	536	-315	3	1
7	10-1 25鈴93枝年サアエ夏			37	1,445,617	247	536	-289	9	29
8	11-1 25鈴100枝1穂に			11	1,446,011	247	536	-289	10	23
9	16-1 25鈴100枝28穂年サミト			28	1,446,028	247	536	-289	10	24
10	19B-1 25鈴130枝の年サナト春の初日	1	1	58	1,447,858	248	536	-289	2	17
11	20-1 26鈴16枝41穂年キヤエ弥生	3		41	1,501,001	257	536	-279	3	20
12	21-1 26鈴17枝23穂弥生初日	3	1	23	1,501,043	257	536	-279	3	23
	27鈴1穂初日 (1日16穂→1日16穂)				1,560,001	267	536	-269	4	25
13	24-6 時29鈴501枝38(穂)如月朔日	2	1	38	1,710,098	280	536	-256	1	1
14	29-9 ニニキネの高千穂峰に入り神となる頃			30	1,792,470	287	536	-249	1	18
15	25-1 32鈴23穂ツウエ、ウ月初	4	1	23	1,860,023	292	536	-244	10	29
16	26-1 36鈴34枝38穂弥生望	3	15	38	2,102,078	313	536	-223	7	15
17	27-22 時42鈴805枝極年ネウト、八月4日	8	4	9	2,511,069	348	536	-188	7	12
18	24-41 49鈴901枝初穂キアエ初3日	1	3	1	2,934,661	384	536	-152	10	9
19	28-1 50鈴100枝の20年			20	2,940,020	385	536	-151	3	25

【アスス暦】

アスス暦は長年に渡り、紀年、2 倍暦と云われて来たが、その現象について、初代天皇～33 代天皇の崩御歳をアスス暦、日本書紀、新皇正統記等より調査分析すると、紀元399年より大きく減少していることが下記のように判明した。そのため、初代～16 代天皇の期間を修正し年表を作成した。

【理由】

履中天皇元年以前の日本書紀の記述を見ると、「応神天皇一六年三月条に、王仁が渡来して太子菟道稚郎子の師となり諸典籍を教えた」と記述していた。また、天皇の崩御歳は、17 代履中天皇元年(紀元 399 年)を境にして初代～16 代天皇と17 代～33 代天皇との間には、約 104 歳⇒約 64 歳に寿命が大幅に短命になっていた。このことより、履中天皇元年の紀元 399 年より日本でも太陰非太陽暦(2 倍暦)⇒シナ(支那)暦が導入され太陰太陽暦に改訂されていたと推定し、遡り年の起点とした。



紀年の西暦、アスス暦の西暦の対照年表

NO.	天皇名	書記御世	西暦換算	アスス暦	年	月	日	西暦換算	月	日
1	神武天皇	76	-659	58穂	58	1	1	-132	7	1
	空白 3年	3	-583							
2	綏靖天皇	33	-580	134穂	134	1	1	-94	7	1
3	安寧天皇	38	-547	170穂	170	7	3	-76	10	2
4	懿徳天皇	34	-509	208穂	208	2	4	-57	7	18
	空白 1年	1	-475							
5	孝昭天皇	83	-474	243穂	243	1	1	-39	1	1
6	孝安天皇	102	-391	326穂	326	1	7	3	7	4
7	孝靈天皇	76	-289	428穂	428	1	12	54	7	6
8	孝元天皇	57	-213	504穂	504	1	14	92	7	8
9	開化天皇	60	-156	560穂	560	10	12	120	11	22
10	崇神天皇	68	-96	621穂	622	1	1	151	7	1
11	垂仁天皇	99	-28	689穂	689	1	1	185	1	1
12	景行天皇	60	71	788穂	788	7	11	234	10	6
	ホツマ終焉			843穂	843	1	1	262	1	1
13	成務天皇	60	131		848	11	8	264	12	5
14	仲哀天皇	9	191		908	6	12	294	9	22
	神功皇后	69	200		918	2	7	299	7	19
15	応神天皇	41	269		987	4	18	334	2	25
	空白 2年	2	310							
16	仁徳天皇	87	312		1028	2	16	354	7	24
17	履中天皇	6	399		1117	1	17	399	1	9

作成 2014_2_14 付

(おわり)